

2024年 司法書士本試験

本試験<詳細>分析会

午前の部 択一式

講師レジュメ

辰巳法律研究所

松本 雅典 専任講師

辰巳法律研究所

講師レジュメ①・午前択一

松本 雅典

1 形式

1. 組合せ問題・単純正誤問題・個数問題

		憲法	民法	刑法	会社法 (商法) *	合計
組合せ	R6	3	20	3	9	35
	R5	3	20	1	9	33
	R4	3	20	3	8	34
	R3	3	20	3	8	34
	R2	3	20	3	9	35
単純 正誤	R6					0
	R5			2		2
	R4				1	1
	R3				1	1
	R2					0
個数	R6					0
	R5					0
	R4					0
	R3					0
	R2					0

*会社法（商法）は、平成18年度～平成27年度は、平成21年度第27問（単純正誤問題）を除き、組合せ問題のみだったが、平成28年度から単純正誤問題・個数問題が出題されるようになった

2. 知識問題・学説問題

		憲法	民法	刑法	会社法 (商法)	合計
知識	R6	3	20	3	9	35
	R5	3	20	3	9	35
	R4	3	20	3	9	35
	R3	3	20	3	9	35
	R2	3	20	3	9	35
学説	R6					0
	R5					0
	R4					0
	R3					0
	R2					0

* 令和元年度は、憲法において学説問題が出題（第3問）

* 平成29年度は、憲法において肢レベルで学説問題が出題（第2問・ウ、第3問・エ・オ）。
かつての刑法の出題形式。

2 分析表

※ 「Rank」 分け

- ・ A : 70% 以上
- ・ B : 70% 未満 ~ 40% 以上
- ・ C : 40% 未満

1. 科目別

		憲法	民法	刑法	会社法 (商法)	合計
R6 基準点 : ? 問	A	2	15	2	9	28
	B	1	4	1		6
	C		1			1
R5 基準点 : 26 問	A	3	14	2	8	27
	B		4	1	1	6
	C		2			2
R4 基準点 : 27 問	A	2	15	2	6	25
	B	1	5	1	2	9
	C				1	1
R3 基準点 : 27 問	A	3	19	3	4	29
	B		1		5	6
	C					0
R2 基準点 : 25 問	A	1	14	3	5	23
	B	2	5		4	11
	C		1			1

2. 問題別・肢別

※「T」はテキストまたは過去問にある肢です。テキストのページ数は、以下のテキストのものです。

■憲法

- ・『司法書士試験 リアリスティック 11 憲法』

■民法

- ・表の上段：『【第4版】司法書士試験 リアリスティック 1 民法Ⅰ [総則]』
『【第4版】司法書士試験 リアリスティック 2 民法Ⅱ [物権]』
『【第4版】司法書士試験 リアリスティック 3 民法Ⅲ [債権・親族・相続]』
『【第4版】リアリスティック不動産登記法Ⅰ』
『【第4版】リアリスティック不動産登記法Ⅱ』
『【第2版】リアリスティック民事訴訟法・民事執行法・民事保全法』
- ・表の下段：『【第4版】司法書士試験 リアリスティック 1 民法Ⅰ [総則]』
『【第4版】司法書士試験 リアリスティック 2 民法Ⅱ [物権]』
『【第5版】司法書士試験 リアリスティック 3 民法Ⅲ [債権・親族・相続]』
『【第5版】リアリスティック不動産登記法Ⅰ』
『【第5版】リアリスティック不動産登記法Ⅱ』
『【第2版】リアリスティック民事訴訟法・民事執行法・民事保全法』

■刑法

- ・『司法書士試験 リアリスティック 10 刑法』

■会社法（商法）

- ・表の上段：『【第2版】司法書士試験 リアリスティック 6 会社法・商法・商業登記法Ⅰ』
『【第2版】司法書士試験 リアリスティック 7 会社法・商法・商業登記法Ⅱ』
- ・表の下段：『【第3版】司法書士試験 リアリスティック 6 会社法・商法・商業登記法Ⅰ』
『【第3版】司法書士試験 リアリスティック 7 会社法・商法・商業登記法Ⅱ』

※「**過**X」のマークをつけている問題 :過去問の知識では正解にたどり着くことができない問題（2択や3択までいくものも含む）

※「**テ**X**過**X」のマークをつけている問題:テキストおよび過去問の知識でも正解にたどり着くことができない問題（2択や3択までいくものも含む）

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第1問	ア	66.8%	B	T	P86	H15-1-3
	イ			T	P83	H21-2-エ
	ウ			T	P93	H28-1-イ
	エ					
	オ			T	P95	R 2-1-ウ
第2問 (過)×	ア	93.0%	A	T	P77	
	イ			T	P76	
	ウ			T	P142	
	エ			T	P87	
	オ			T	P79	H27-1-オ
第3問	ア	83.1%	A	T	P192	H15-3-1
	イ			T	P217	H23-3-オ、H16-1-5
	ウ			T	P201	
	エ			T	P211	
	オ			T	P219	H28-3-オ
第4問	ア	93.1%	A	T	I P66	R 1-4-ア
					I P66	
	イ			T	I P103	H24-4-イ
					I P103	
	ウ			T	I P65	
I P65						
エ	T	ⅢP416	R 4-20-イ、R 1-4-エ、H25-21-イ、H22-20-エ、H16-24-ア、H12-20-イ、H11-18-イ、H 6-22-ウ、H 2-18-1、H 1-19-イ			
ⅢP414						
オ	T	ⅢP447	H29-20-ア、H23-20-エ、H11-20-エ、H 8-18-イ			
ⅢP446						

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第5問	ア	90.9%	A	T	I P215	H 2-16-5
					I P215	
	イ			T	I P213	R 1-5-エ、H17-6-ウ
					I P213	
	ウ			T	I P218	H24-5-イ、H21-4-ウ
I P218						
エ	T	I P210	R 2-6-ウ			
		I P210				
オ	T	I P211	H21-4-イ、H17-6-イ、H 2-16-4			
					I P211	
第6問	ア	84.0%	A	T	I P249	H10-3-1、H 8-4-イ
					I P249	
	イ			T	I P257	H 6-6-2、H 5-3-ウ
					I P257	
	ウ			T	I P231	H20-7-ア
I P231						
エ	T	I P224				
		I P224				
オ	T	ⅢP90	H29-6-ウ、H19-19-オ、H 5-3-ア			
					ⅢP90	
第7問	ア	84.0%	A	T	I 249 (ⅡP82)	H27-6-ウ
					I 249 (ⅡP82)	
	イ			T	Ⅱ P103	
					Ⅱ P103	
	ウ			T	Ⅱ P104~105	R 2-8-オ
Ⅱ P104~105						
エ	T	Ⅱ P103	H14-11-ア、S 63-15-4			
		Ⅱ P103				
オ	T	I P251	H21-7-ア、H21-7-イ、H12-11-3、S59-11-4			
					I P251	

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第8問 ⑥×	ア	71.3%	A			
	イ					
	ウ					
	エ			T	Ⅱ P112 Ⅱ P112	
	オ			T	Ⅱ P111 Ⅱ P111	R 2-9-ウ
第9問 ⑥×	ア	75.7%	A	T	Ⅱ P142 (不 I P319) Ⅱ P142 (不 I P318)	
	イ			T	Ⅱ P140 Ⅱ P140	
	ウ			T	Ⅱ P141 Ⅱ P141	R 5-10-イ、H27-10-エ、H22-9-エ
	エ			T	Ⅲ P508 Ⅲ P508	
	オ			T	Ⅱ P140 Ⅱ P140	S 63-13-4
	第10問			89.6%	A	T
イ	T	Ⅱ P170 Ⅱ P170	H28-7-ウ、H23-12-イ			
ウ	T	Ⅱ P168 Ⅱ P168	H24-10-エ、H16-10-1、H4-12-1			
エ		(Ⅱ P168) (Ⅱ P168)				
オ						

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第11問	ア	88.7%	A	T	Ⅱ P183 Ⅱ P183	H10-11-ウ
	イ			T	Ⅱ P184～185 Ⅱ P184～185	H23-11-4、H22-12-ア、H10-11-イ
	ウ					
	エ			T	Ⅱ P344 Ⅱ P344	R 4-15-エ、H26-15-オ、H22-12-オ、H21-15-ア
	オ			T	Ⅱ P188 Ⅱ P188	H27-12-ア、H17-12-ア、H13-9-オ
第12問	ア	66.7%	B			
	イ					
	ウ			T	Ⅱ P201 Ⅱ P201	H28-11-イ
	エ			T	Ⅱ P200 Ⅱ P200	H10-12-オ
	オ			T	Ⅱ P202 Ⅱ P202	R 2-11-ア、H26-11-エ、H24-11-イ、H10-12-イ
第13問	ア	90.0%	A	T	Ⅱ P123 Ⅱ P123	R 1-14-ア、H15-10-ウ
	イ			T	Ⅱ P243 Ⅱ P243	R 1-13-イ、H17-14-ア、H 5-12-ア
	ウ			T	Ⅱ P259 Ⅱ P259	H29-18-ウ、H28-12-オ、H24-13-オ
	エ					
	オ			T	Ⅱ P289 Ⅱ P289	

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第14問	ア	90.5%	A	T	Ⅱ P321 Ⅱ P321	H24-13-イ、H22-11-イ、S62-11-4
	イ			T	Ⅱ P324 Ⅱ P324	R 1-14-ウ、H 2-20-1
	ウ			T	Ⅱ P326 Ⅱ P326	(H19-14-ウ)
	エ			T	執 P347・297 執 P347・297	
	オ			T	Ⅱ P262 Ⅱ P262	H25-13-オ
第15問	ア	74.0%	A	T	不Ⅱ P125 不Ⅱ P125	H22-15-イ、H18-16-イ、午後H17-19-エ
	イ			T	不Ⅱ P11 不Ⅱ P11	
	ウ					
	エ			T	不Ⅱ P47・52 不Ⅱ P47・52	午後H24-20-イ、午後H20-21-オ、午後H6-13-エ
	オ			T	不Ⅱ P39 不Ⅱ P39	
第16問 ④×	ア	79.0%	A		(Ⅲ P52) (Ⅲ P52)	
	イ			T	Ⅲ P50 Ⅲ P50	H14-16-イ、H 2-10-4
	ウ			T	Ⅲ P53 Ⅲ P53	(H30-16-5)
	エ			T	Ⅲ P55 Ⅲ P55	H30-16-3、H20-18-エ
	オ			T	Ⅲ P60 Ⅲ P60	

		正答率	Rank		テキスト	過去問	
第17問	ア	58.1%	B	T	Ⅲ P86		
					Ⅲ P86		
	イ			T	H 27-17-エ		
	ウ						
	エ			T	Ⅲ P104 Ⅲ P104		
オ	T	Ⅲ P107 Ⅲ P107	R 2-16-エ、R 2-16-オ				
第18問 ⓧ 過	ア	39.3%	C	T	Ⅲ P218		
					Ⅲ P218		
	イ			T	Ⅲ P219 Ⅲ P219		
	ウ			T	Ⅲ P222 Ⅲ P222		H 5-11-3
	エ			T	Ⅲ P548 Ⅲ P548		
オ		(Ⅲ P221) (Ⅲ P221)					
第19問 ⓧ 過	ア	76.5%	A	T	Ⅲ P319		
					Ⅲ P319		
	イ			T	Ⅲ P318 Ⅲ P318		
	ウ			T	Ⅲ P323 Ⅲ P323		
	エ			T	Ⅲ P327 Ⅲ P327		
オ	T	Ⅲ P325 Ⅲ P325					

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第20問 テ× 過×	ア	68.0%	B	T	I P71 I P71	H 25- 4 -オ
	イ			T	I P78 I P78	
	ウ					
	エ					
	オ					
第21問 テ× 過×	ア	62.3%	B	T	Ⅲ P467 Ⅲ P466	H 17-22-エ
	イ					
	ウ			T	Ⅲ P467 Ⅲ P466	
	エ					
	オ			T	Ⅲ P468 Ⅲ P467	H 17-22-イ
第22問 過×	ア	87.4%	A			
	イ			T	Ⅲ P530 Ⅲ P530	H 22-22-ア、H 20-23-エ、H 4-18-3
	ウ			T	Ⅲ P529 Ⅲ P529	
	エ			T	Ⅲ P525 Ⅲ P525	H 22-20-ウ、H 6-19-ウ、H 1-23-4
	オ					

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第23問 ⓧ ⓧ	ア	73.6%	A	T	Ⅲ P575 Ⅲ P575	
	イ			T	Ⅲ P575 Ⅲ P575	
	ウ			T	Ⅲ P575 Ⅲ P575	
	エ			T	Ⅲ P576 Ⅲ P576	
	オ			T	Ⅲ P576 Ⅲ P576	
	ア			85.3%	A	
イ	T	P51	H25-25-エ、H21-25-ウ、H18-27-イ			
ウ	T	P53	H21-25-イ			
エ	T	P48	H24-25-ウ、H22-26-イ、H18-25-ウ			
オ	T	P52	H29-25-オ、(H21-25-ア)			
第25問	ア	87.4%	A	T	P122	H22-26-ア
	イ			T	P21	H25-24-エ
	ウ			T	P124	
	エ			T	P122	H22-26-オ
	オ			T	P25	H27-24-エ、H22-26-エ、H14-25-1
第26問 ⓧ ⓧ	ア	55.4%	B	T	P209	
	イ					
	ウ					
	エ					
	オ			T	P210	

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第27問 ⑥×	ア	91.7%	A	T	I P83 I P83	H26-27-イ、H24-27-ウ、H22-27-ア、H17-28-ア、H6-34-ウ
	イ			T	I P118 I P118	H22-27-オ、H21-27-4
	ウ			T	I P120 I P120	
	エ			T	II P402 II P402	
	オ					
第28問	ア	78.4%	A	T	I P163 I P163	H12-32-ク
	イ			T	I P192 I P192	H27-28-イ、H11-33-オ
	ウ			T	I P187 I P187	H27-28-ウ
	エ			T	I P129 I P129	(H20-30-ウ)
	オ			T	I P402 I P406	H2-35-4
第29問	ア	84.4%	A	T	(I P235) (I P235)	
	イ					
	ウ			T	(I P258) (I P258)	
	エ			T	I P256 I P256	H28-29-オ
	オ			T	I P252 I P252	H28-29-ア

		正答率	Rank		テキスト	過去問	
第30問	ア	74.0%	A	T	Ⅱ P394 Ⅱ P394	H18-34-エ、H11-33-ア、H 5-28-5	
	イ			T	I P294 I P299	R 5-28-ウ、H17-31-1、H 6-29-4	
	ウ						
	エ			T	I P288 I P292	R 1-30-オ、H 4-30-5	
	オ			T	I P278 I P283		
第31問 ⓧ 過	ア	89.6%	A	T	I P435・334 I P439・338		
	イ			T	I P268 I P268		
	ウ			T	I P449 I P453	H29-31-エ、H20-34-イ	
	エ			T	I P435 I P439		
	オ			T	I P442 I P446		
第32問	ア	84.8%	A	T	Ⅱ P192 Ⅱ P192		
	イ			T	Ⅱ P176 Ⅱ P176	午後 R 1-33-ウ、H17-33-エ	
	ウ						
	エ			T	Ⅱ P172 Ⅱ P172	H27-31-イ、H19-33-エ	
	オ						

		正答率	Rank		テキスト	過去問
第33問 ⓧ ⓧ	ア	76.5%	A	T	Ⅱ P242 Ⅱ P242	H 20-35-オ
	イ			T	Ⅱ P208 Ⅱ P208	R 3-33-ア、H 24-33-ア、H 19-34-エ、H 15-28-2
	ウ			T	Ⅱ P250 (264) Ⅱ P250 (264)	
	エ			T	Ⅱ P216 Ⅱ P216	
	オ			T	Ⅱ P221 Ⅱ P221	(H 15-28-1)
第34問 ⓧ ⓧ	ア	87.8%	A	T	Ⅱ P170 Ⅱ P170	(午後H 29-35-オ、午後H 25-35-ウ、H 19-35-ウ)
	イ			T	Ⅱ P292 Ⅱ P292	
	ウ			T	Ⅱ P388 Ⅱ P388	
	エ			T	Ⅱ P316 Ⅱ P316	H 17-32-4
	オ			T	Ⅱ P310 Ⅱ P310	H 19-35-エ
第35問	ア	77.0%	A	T	Ⅱ P509 Ⅱ P501	R 4-35-ア、H 28-35-ア、H 26-35-オ、午後H 17-28-エ、H 14-35-ウ、午後H 12-30-オ
	イ			T	Ⅱ P519 Ⅱ P511	H 23-35-エ
	ウ			T	Ⅱ P524 Ⅱ P516	R 2-35-ア
	エ			T	Ⅱ P528 Ⅱ P520	H 22-35-オ
	オ					

3. 過去問の出題周期

※ゴシック体は重複の出題を考慮したもの (ex. 平成 30 年度、平成 21 年度、平成 14 年度で出題されていれば平成 30 年度のみでカウント)

57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5								
																																												2	2%				
																																												3	5%				
																																												1	7%				
																																												8	15%				
																																												7	23%				
																																												4	8	27%			
																																													6	34%			
																																													6	40%			
																																														8	9	49%	
																																														1	9	50%	
																																														4	4	54%	
																																														6	6	61%	
																																														3	11	64%	
																																															7	6	71%
																																															4	15	76%
																																															3	11	79%
																																															2	7	82%
																																															1	6	83%
																																															2	5	85%

cf. 令和4年度の過去問の出題周期

※ゴシック体は重複の出題を考慮したもの (ex. 平成30年度、平成21年度、平成14年度で出題されていれば平成30年度のみでカウント)

57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4				
																																									1	1%		
																																									2	3%		
																																									1	4%		
																																									9	14%		
																																									5	20%		
																																										6	27%	
																																										9 7	37%	
																																										8 12	46%	
																																										8 9	54%	
																																										7 11	62%	
																																										0 10	62%	
																																											3 3	66%
																																											2 11	68%
																																											5 7	73%
																																											1	74%
																																											4 5	79%
																																											2 9	81%
																																											2 6	83%
																																											2 5	86%

57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4
																														2 3				88%						
																														0 10				88%						
																														0 5				88%						
																														1 4				89%						
																														1 5				90%						
																														0 7				90%						
																														1 9				91%						
																														0 2				91%						
																														1 2				92%						
																														0 13				92%						
																														0 4				92%						
																														0 4				92%						
																														0 3				92%						
																														1 3				93%						
																														0 5				93%						
																														0 2				93%						
																														0 2				93%						
																														5 3				99%						
																														0 6				99%						
																														0 4				99%						
																														1 1				100%						
																														2										

cf. 令和3年度の過去問の出題周期

※ゴシック体は重複の出題を考慮したもの (ex. 平成30年度、平成21年度、平成14年度で出題されていれば平成30年度のみでカウント)

56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3																
																																										3	3%													
																																										1	4%													
																																										2	2	6%												
																																											13	20%												
																																											7	28%												
																																												5	8	33%										
																																													7	7	40%									
																																														5	11	46%								
																																															4	6	50%							
																																																6	7	56%						
																																																	7	7	64%					
																																																		1	9	65%				
																																																			2	67%				
																																																				6	4	73%		
																																																					1	8	74%	
																																																					0	3	74%	
																																																					0	5	74%	
																																																						1	3	75%
																																																						2	2	78%

cf. 令和2年度の過去問の出題周期

※ゴシック体は重複の出題を考慮したもの (ex. 平成30年度、平成21年度、平成14年度で出題されていれば平成30年度のみでカウント)

60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2			
																																			1	1%		
																																			1	2%		
																																			0	2%		
																																			9	12%		
																																			6	19%		
																																			13	33%		
																																			3	14	37%	
																																			3	5	40%	
																																			3	9	43%	
																																			1	4	44%	
																																				5	3	50%
																																				9	7	60%
																																				3	13	63%
																																				3	7	67%
																																				2	5	69%
																																				1	4	70%
																																				3	7	73%
																																				2	10	76%
																																				6	3	82%

cf. 令和元年度の過去問の出題周期

※ゴシック体は重複の出題を考慮したもの (ex. 平成 29 年度、平成 21 年度、平成 14 年度で出題されていれば平成 29 年度のみでカウント)

58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	
																																				2	2%
																																				2	5%
																																				0	5%
																																				7	13%
																																				5	19%
																																				8 6	28%
																																				3 9	32%
																																				1 4	33%
																																				4 4	37%
																																				3	41%
																																				3 6	45%
																																				1	46%
																																				5	52%
																																				6 8	59%
																																				2 9	61%
																																				5 5	67%
																																				1	68%
																																				3 5	72%

58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1						
																	0	4																						72%		
																	1	1																							73%	
																		1	7																						74%	
																		1	5																						75%	
																		1	4																						76%	
																		3	3																						80%	
																		5	4																						86%	
																		0	12																						86%	
																			0	6																					86%	
																			2	2																						88%
																			2	3																						91%
																			2	7																						93%
																			0	5																						93%
																				1																						94%
																				2																						96%
																				2																						99%
																				0																						99%
																				1	2																					100%

4. 出題の根拠

	憲法	民法	刑法	会社法 (商法)	合計
条文	4肢 (26.7%)	<u>77肢</u> (77.0%)	1肢 (6.7%)	<u>44肢</u> (97.8%)	<u>126肢</u> (72.0%)
判例	<u>10肢</u> (66.7%)	22肢 (22.0%)	<u>14肢</u> (93.3%)	1肢 (2.2%)	47肢 (26.9%)
通説	1肢 (6.7%)	1肢 (1.0%)	0肢 (0%)	0肢 (0%)	2肢 (1.1%)

cf. 令和5年度

	憲法	民法	刑法	会社法 (商法)	合計
条文	4肢 (26.7%)	<u>81肢</u> (81.0%)	<u>8肢</u> (53.3%)	<u>41肢</u> (91.1%)	<u>134肢</u> (76.5%)
判例	<u>11肢</u> (73.3%)	17肢 (17.0%)	7肢 (46.7%)	2肢 (4.4%)	37肢 (21.1%)
通説	0肢 (0%)	2肢 (2.0%)	0肢 (0%)	2肢 (4.4%)	4肢 (2.2%)

cf. 令和4年度

	憲法	民法	刑法	会社法 (商法)	合計
条文	4肢 (26.7%)	<u>62肢</u> (62.0%)	4肢 (26.7%)	44肢 (97.8%)	<u>114肢</u> (65.1%)
判例	<u>11肢</u> (73.3%)	27肢 (27.0%)	<u>10肢</u> (66.7%)	1肢 (2.2%)	49肢 (28.0%)
通説	0肢 (0%)	11肢 (11.0%)	1肢 (6.6%)	0肢 (0%)	12肢 (6.9%)

3 内容および令和6年度の対策

1. 各科目の令和6年度の内容および令和7年度の対策

注意

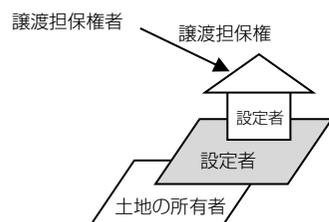
令和6年度の傾向のみから令和7年度の対策を考えず、**近年の傾向から考える**

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
憲法	過去問	過去問で正解できる問題が昨年度(2/3問)に引き続き多い(2/3問) 第1問・第3問	過去問の重要性は徐々に高くなっているが、未出分野の対策も必ず行う
	総論	①なし ※H28-2で、「主権の概念」というこれまでと違った傾向の出題	<p>①憲法の分類</p> <p>1. 内容による分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">形式的意味の憲法</div> <ul style="list-style-type: none"> : 憲法という名前がついていれば憲法。内容は問わない。 ex. 日本国憲法 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">固有の意味の憲法</div> <ul style="list-style-type: none"> : 国家の統治の基本を定めていれば憲法 ex. 日本国憲法 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実質的意味の憲法</div> <ul style="list-style-type: none"> : 特定の内容を有すれば憲法。形式は問わない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">立憲的意味の憲法</div> <ul style="list-style-type: none"> : 固有の意味の憲法であって、自由主義に基づいていれば憲法 ex. 日本国憲法 <p>2. 形式による分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">成文憲法</div> <ul style="list-style-type: none"> : 憲法典の条文の形式による憲法 ex. 日本国憲法 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">不文憲法</div> <ul style="list-style-type: none"> : 憲法典の条文の形式によらない憲法 ex. イギリスの憲法(権利章典、国会法など)

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
			<p>3. 改正のしやすさによる分類</p> <ul style="list-style-type: none"> 硬性憲法：憲法改正に特別の手続を要する憲法 ex. 日本国憲法 軟性憲法：通常の立法手続と同じ要件で改正できる憲法 ex. イギリスの憲法 <p>4. 制定主体による分類</p> <ul style="list-style-type: none"> 民定憲法：国民によって制定された憲法 ex. 日本国憲法 欽定憲法：君主によって制定された憲法 ex. 明治憲法
	人権	<p>①新しい判例(平成20年以降)の出題あり</p> <p>・第1問・エ (最判平 20.4.11)</p> <p>②未出題の分野からの出題なし</p>	<p>①判例学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい判例(平成20年以降)の対策も行う(テキストや答練・模試) ∴R5-3-オ(最判平 25.3.21)、R4-1-イ(最判平 24.2.2)、R4-2-イ(最大判平 20.6.4)、R4-2-ウ(最大判平 24.10.17)、R4-2-エ(最大決平 25.9.4)、R2-1-ア(最判平 20.4.11)、H30-1-エ(最判平 20.3.6)などで出題 ・判例の流れを説明した講義またはテキストを利用する(H29-1) <p>②未出題の分野の対策もしっかりと行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ∴R4-1は人格権又は人格的利益、R2-2は人身の自由から初めて出題
	統治	<p>①条文問題の出題あり(第3問・ア・イ・ウ・オ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5-3-ア～ウ ・R4-3-ア～ウ ・R4-3-ア～エ 	<p>①条文対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条文の音声学習を行う ・条文知識の思い出し方を考える

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
		<ul style="list-style-type: none"> ・ R3-3-ア～エ ・ R1-2-イ・ウ ・ H29-2-イ・エ H29-3-ア・ウ ・ H28-3-イ・ウ・オ ・ H27-2 ・ H26-2 	
	学説 問題	①学説問題なし <ul style="list-style-type: none"> ・ R1-3 ・ H29-2-ウ H29-3-エ・オ 	①テキスト掲載の学説の内容、理由および批判は記憶 ・憲法の学説問題は、民法と異なり、知識がないと正解 できないものが多い →それ以外は、(答練・問題集)・模試で問題演習
	空欄 補充 問題	①今年度はなし ただ、憲法が最も多い <ul style="list-style-type: none"> ・ H30-3 ・ H29-1 ・ H27-3 ・ H24-2 ・ H22-1 ・ H22-3 ・ H21-1 ・ H19-1 	①空欄補充問題の解き方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 候補のみを考える ・ 判断しなくていい空欄もあり得る ・ 最後のほうまで読まないと絶対にわからないこと もある →問題演習が重要
民法	学説 問題	①なし ※10年連続(H27～R6)	①捨ててOK
	総則	①すべて典型論点から の出題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 未成年者(第4問) ・ 条件(第5問) ・ 時効(第6問) ※代理は、また2年に1 回に? <ul style="list-style-type: none"> ・ R5-6(無権代理) ・ R4-5(有権代理) ・ R2-5(無権代理) 	①これまでどおり

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
		<ul style="list-style-type: none"> ・ H30-5 (有権代理) ・ H28-5 (無権代理) ・ H26-5 (有権代理・無権代理) <p>②H29 債権法改正はわずか(条文問題。第5問・ウ)</p> <p>③考えさせられる事例問題なし</p>	<p>②H29 債権法改正の学習は条文中心で行う</p> <p>③総則は、1問は考えさせられる事例問題が出るのが考えられる。特に時効に多い(H29-6、H28-6、H26-6)。 →過去問・答練・模試で事例問題の練習</p>
	物権 総論	<p>①出題数4問(R5～R2は4問、R1は5問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 占有(第7問) ・ 相隣関係(第8問) ・ 共有物の分割(第9問) ・ 地役権(第10問) <p>②R3物権法改正が出題(条文知識ばかり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第9問・イ・ウ・エ 	<p>①これまでどおり</p> <p>②R3物権法改正の学習は条文中心で行う</p>
	担保 物権	<p>①出題数5問(R5～R2は5問、R1は4問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 留置権(第11問) ・ 先取特権(第12問) ・ 抵当権(第13問) ・ 抵当権(第14問) ・ 根抵当権(第15問) <p>※譲渡担保権の出題なし(肢レベルでは出題〔第11問・エ〕)</p>	<p>①これまでどおり</p>

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
		<p>②未出判例が問われている（第11問・ウ、第13問・エ）</p>	<p>②抵当権および譲渡担保権は判例知識を増やす</p> <p>【譲渡担保権の未出判例】</p> <p>■譲渡担保とは</p> <p>①最判平18.2.7</p> <p>買戻特約付売買契約の形式が採られていても、目的不動産の占有の移転を伴わない契約は、特段の事情のない限り、債権担保の目的で締結されたものと推認され、その性質は譲渡担保契約と解するのが相当である。</p> <p>∴判例は、契約の形式にとらわれることなく、担保の実質に即してどのような担保かを判断しようとする姿勢をとってきている。</p> <p>■譲渡担保権の法的構成</p> <p>②最判平5.2.26</p> <p>譲渡担保の目的物が滅失または損傷した場合に、損害保険から得られる被保険利益は、譲渡担保権者と設定者がそれぞれ有する。</p> <p>∴近時の判例は、譲渡担保の法的構成について「所有権は譲渡担保権者に移転するが、設定者にも一定の物権は残っている」と考えていると解されているので（判例の正確な位置づけを記憶する必要はない）、譲渡担保権者と設定者に被保険利益が認められたと考えられている。</p> <p>■譲渡担保の効力が及ぶ目的物の範囲</p> <p>※下記③④の判例の事案</p> 

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
			<p>③最判昭 40.12.17</p> <p>借地（賃借権）上の建物に譲渡担保権を設定する場合、<u>設定者が建物を使用するときは、土地の所有者の承諾は不要である。</u></p> <p>∴民法 612 条の賃借権の譲渡または転貸に当たらないからである。抵当権と異なり、譲渡担保権は設定時に占有を担保権者に移転することがあるため、土地の所有者の承諾が必要かが問題となる。</p> <p>④最判平 9.7.17 (28-15-エで出題)</p> <p>借地（賃借権）上の建物に譲渡担保権を設定する場合、<u>譲渡担保権者が建物を使用するときは、土地の所有者の承諾が必要である。</u></p> <p>∴民法 612 条の賃借権の譲渡または転貸に当たるからである。抵当権と異なり、譲渡担保権は設定時に占有を担保権者に移転することがあるため、土地の所有者の承諾が必要かが問題となる。</p> <p>■受戻権</p> <p>⑤最判昭 57.1.22</p> <p>譲渡担保の設定者の受戻権は、<u>消滅時効にかからない。</u></p> <p>∴一定の法律関係に当然に伴う権利であるからである。</p>
	債権	<p>① H29 債権法改正は 14/20 肢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詐害行為取消権（第 16 問・ア・ウ・エ） ・ 保証（第 17 問・イ～オ） ・ 贈与（第 18 問・ア・イ） ・ 組合（第 19 問・ア～オ） <p>② H29 債権法改正は条文中心</p>	<p>① H29 債権法改正も他の知識と同じように学習</p> <p>② H29 債権法改正は条文中心の学習を行う</p>

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
		③マイナー論点からの出題なし ex. R 4-17 (第三者のためにする契約)	③マイナー論点は力を入れない
	親族	①難化 ・補助 (第20問) ・扶養 (第21問) 近年の傾向 (R 5-21 [未成年後見]、R 5-22 [限定承認]←相続) ②R 4改正 (嫡出推定、女性の再婚禁止期間廃止) なし ③複雑な事例問題なし ④未出判例の出題なし	①親族・相続は民法の最後に解く ②出題の確率は高い ③複雑な事例問題 (ex.H26-20) が苦手な方は、事例問題の対策を少し多めにする ④余裕があれば未出判例・最新判例を押さえる ex. R 2-20-オ (最決平 26.4.14)、R 1-20-4 (最決平 19.3.23) ■嫡出推定が及ぶか ・嫡出推定が及ぶ → 嫡出否認の訴えで父子関係を否定 ・嫡出推定が及ばない → 親子関係不存在確認の訴えで父子関係を否定 判断基準 「婚姻の成立の日から200日以内」(←令和4年の改正によって追加)、「婚姻の成立の日から200日を経過した後」または「婚姻の解消若しくは取消の日から300日以内」に生まれた子ども、妻が夫によって懐胎することが不可能な事実のあるときに嫡出推定が及ばない。

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
			<p>①最判平 10.8.31 「夫婦が子の出生する9箇月余りに別居し、夫婦間にはその以前から性交渉がなかったが、夫は、別居開始から子の出生までの間に、妻と性交渉の機会を有したほか、妻となお婚姻関係にあることに基づいて婚姻費用の分担金や出産費用の支払に応ずる調停を成立させたなど判示の事実関係の下においては、嫡出否認の訴えによらずに夫が提起した親子関係不存在確認の訴えは、不適法である。」</p> <p>②最判平 12.3.14 「夫と妻との婚姻関係が終了してその家庭が崩壊しているとの事情が存在することの一事をもって、夫が、民法772条により嫡出の推定を受ける子に対して、親子関係不存在確認の訴えを提起することは許されない。」</p> <p>③最決平 25.12.10 「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律3条1項の規定に基づき男性への性別の取扱いの変更の審判を受けた者の妻が婚姻中に懐胎した子は、民法772条の規定により夫の子と推定されるのであり、夫が妻との性的関係の結果もうけた子であり得ないことを理由に実質的に同条の推定を受けないということとはできない。」</p>
	相続	<p>①計算問題なし</p> <p>②H30 相続法改正 ・遺言 (第22問・ウ) ・特別の寄与 (第23問・ア～オ)</p> <p>③未出判例の出題 (第22問・ア・オ)</p>	<p>①計算問題 (ex. R1-23) や複雑な事例問題 (ex.H29-23、H25-22、H24-23) が苦手な方は、事例問題の対策を少し多めにする</p> <p>②H30 相続法改正も他の知識と同じように学習 (特に遺留分)</p> <p>③余裕があれば最新判例を押さえる 最判平 27.11.20 遺言者が自筆証書である遺言書に故意に斜線を引く行為</p>

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
			は、その斜線を引いた後になお元の文字が判読できる場合であっても、その斜線が赤色ボールペンで上記遺言書の文面全体の左上から右下にかけて引かれている……民法 1024 条前段所定の「故意に遺言書を破棄したとき」に該当し、遺言を撤回したものとみなされる。
刑法	出題 論点	①出題実績のない論点からの出題 (R1-26〔名誉毀損罪〕) なし ・ 違法性阻却事由 (第 24 問) ・ 傷害の罪 (第 25 問) ・ 毀棄・隠匿の罪 (昭和 63 年度以来。第 26 問)	①テキスト掲載の犯罪に絞る
	学説 問題	①なし ※20年連続 (H17~R6)	①捨てて OK
会社法 (商法)	難易 度	①会社法の難易度としては例年よりも易しい (2年連続)	①難化しても基本的な問題を確実に得点するのが第一
	過去 問	過去問で正解できる問題が多い (5/9 問。R5 は 8/9 問) 第 28 問・第 29 問・第 30 問・第 32 問・第 35 問	過去問の重要性は徐々に高くなっているが、未出知識の対策も必ず行う
	H26 改正	① 0/45 肢 ・ R5 : 0/45 肢 ・ R4 : 3/45 肢 ・ R3 : 11/45 肢 ・ R2 : 10/45 肢 ・ R1 : 1/45 肢 ・ H30 : 1/45 肢 ・ H29 : 0/45 肢 ・ H28 : 13/45 肢 ・ H27 : 1/45 肢	①改正点も通常どおり学習

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
	R1 改正	①1/45肢(第31問・ア) ・R5:1/45肢 ・R4:1/45肢 ・R3:1/45肢	①多数問われる可能性あり
	設立	①H30まで難化傾向が続いていたがR1以降は基本問題(第27問) ②純粋な設立以外の肢が含まれることもある(第27問・エ・オ) ・R3-27-オ ・H30-27-ア・オ ・H28-27-オ ・H27-27-エ・オ ・H26-27-イ・オ ・H24-27-ア	①答練・模試の知識を拾う ②純粋な設立以外の肢が含まれる前提で解く
	判例	①第28問・ア	①テキスト掲載の判例が少ないなら“少し”判例知識を増やす
	学説 問題	①なし ※10年連続(H27~R6)	①捨ててOK。また、これまで出題された会社法の学説問題は、知識で対応するのは困難(H26-31、H25-32、H22-31)。
	商法	①商行為総則・各論からの出題(第35問) ②商行為各論からの出題あり 【商法の構成】 第1編 総則 第2編 商行為	①商法も過去問知識は落とさない ②商行為各論まで学習したほうがいい ∴H21以降7/16(R5-35、R3-35、R2-35、R1-35、H30-35、H23-35、H22-35)が商行為各論 【商行為各論の未出論点】

科目	分野	令和6年度の内容	令和7年度の対策
		第1章 総則 第2章 売買 第3章 交互計算 第4章 匿名組合 第5章 仲立営業 第6章 問屋営業 第7章 運送取扱営業 第8章 運送営業 第9章 寄託(場屋営業・倉庫営業) 第3編 海商	第3章 交互計算 第7章 運送取扱営業 第8章 運送営業

2. 全肢(少なくとも間違えた問題)とテキスト・過去問を照らし合わせる

3. 「択一再現」を行う(思考過程を書き出す)

4 「できなかった箇所」だけを見ない

「できた箇所」も見ろ

ex1. 直前期に単に「テキストを読み込むこと」をやめ、アウトプットをしながら
 テキストを読んだため、点数が上がった

ex2. 憲法の苦手意識は克服できた

ex3. (専業受験生の方) 1日の勉強時間が10時間をきることはなかった

ex4. (兼業受験生の方) 1日5～6時間勉強できた

松本雅典 (本講座担当講師)

担当講座	基礎講座「リアリスティック一発合格松本基礎講座」(全135回)	
	演習講座「過去問手薄分野カバーリアリスティック択一演習」(全4回)	
	直前講座「全国総合模試」(全2回) ————— 第1回解説講義を担当	
	直前講座「司法書士オープン総合編(答練)」(全8回) ————— 第2回・第6回解説講義を担当	
	直前講座「Cランク判例・先例で帳尻合わせ講座」(全1回)	
	直前講座「本試験出題予想会」(全1回)	
著書	一般書	『試験勉強の「壁」を超える50の言葉』(自由国民社)
	勉強法	『【第4版】司法書士5ヶ月合格法』(自由国民社) 『予備校講師が独学者のために書いた 司法書士 5ヶ月合格法』(すばる舎)
	テキスト	『【第4版】司法書士試験 リアリスティック1 民法I [総則]』(辰巳法律研究所)
		『【第4版】司法書士試験 リアリスティック2 民法II [物権]』(辰巳法律研究所)
		『【第5版】司法書士試験 リアリスティック3 民法III [債権・親族・相続]』(辰巳法律研究所)
		『【第5版】司法書士試験 リアリスティック4 不動産登記法I』(辰巳法律研究所) ★2024年5月下旬発売★
		『【第5版】司法書士試験 リアリスティック5 不動産登記法II』(辰巳法律研究所) ★2024年5月下旬発売★
		『【第3版】司法書士試験 リアリスティック6 会社法・商法・商業登記法I』(辰巳法律研究所)
		『【第3版】司法書士試験 リアリスティック7 会社法・商法・商業登記法II』(辰巳法律研究所)
		『【第2版】司法書士試験 リアリスティック8 民事訴訟法・民事執行法・民事保全法』(辰巳法律研究所)
		『【第3版】司法書士試験 リアリスティック9 供託法・司法書士法』(辰巳法律研究所)
		『司法書士試験 リアリスティック10 刑法』(辰巳法律研究所)
		『司法書士試験 リアリスティック11 憲法』(辰巳法律研究所)
	記述	『司法書士試験 リアリスティック12 記述式問題集・基本編 —— 不動産登記・商業登記』
		『司法書士試験 リアリスティック13 記述式問題集・応用編 —— 不動産登記・商業登記』 ★2024年4月下旬発売★
		『【第2版】司法書士 リアリスティック不動産登記法 記述式』(日本実業出版社)
		『【第2版】司法書士 リアリスティック商業登記法 [記述式] 解法』(日本実業出版社)

ネット メディア	All About で連載中 https://allabout.co.jp/gm/gt/2754/	
運営サイト	司法書士試験リアリスティック https://sihousyosisikenn.jp/	
X (旧 Twitter)	松本 雅典 (司法書士試験講師) @matumoto_masa https://x.com/matumoto_masa	
Instagram	matumoto_masanori https://www.instagram.com/matumoto_masanori/	
YouTube	YouTube チャンネル「松本雅典・司法書士試験講師」 https://www.youtube.com/@realistic-matumoto	

【近日開催・公開講座】

- ・リアリスティック導入講義 不動産登記法の全体像（無料・予約不要）

東京

7月14日（日）12：00～15：15 東京本校（高田馬場）LIVE

担当講師：松本 雅典

- ・直近5年の法改正を総整理！離婚後の共同親権、代表取締役の住所の非表示措置も（無料・要予約・定員制）

大阪

7月20日（土）15：00～16：00 新大阪（外部会場。大阪市東淀川区東中島1丁目18番27号新大阪丸ビル新館 5階 509）

担当講師：松本 雅典

※LIVEのご予約は以下のページからお願いいたします。

<https://tatsumionline.stores.jp/items/6673ddf31c5df009bf9588ca>



東京

7月21日（日）14：00～15：00 東京本校（高田馬場）LIVE & YouTube LIVE

担当講師：松本 雅典

※LIVEのご予約は以下のページからお願いいたします。

<https://tatsumionline.stores.jp/items/667f797cec1f7a01eef180a6>



- ・受験経験者も勝負は基礎で決まる！なぜリアリ基礎講座なら諦めずに合格を目指すのか（無料・予約要・定員制）

東京

7月21日（日）15：30～16：30 東京本校（高田馬場）LIVE & YouTube LIVE

松本

※LIVEのご予約は以下のページからお願いいたします。

<https://tatsumionline.stores.jp/items/667f8df8ec1f7a0586f1818d>



あなたの熱意

辰巳の誠意

辰 巳 法 律 研 究 所

東京本校：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-6

TEL03-3360-3371（代表） <https://service.tatsumi.co.jp/>

大阪本校：〒530-0027 大阪市北区堂山町1番5号三共梅田ビル8階 TEL06-6311-0400（代表）